

若者の定着・回帰に向けた市町施策形成支援業務 評価基準

評価項目	点数	係数	配点
1. 業務全体の理解度（配点10点）			
本業務の目的を十分に理解した上で、目的に沿った内容が提案されているか	5	2	10
2. 地域の提供価値（市町特性）の把握（配点35点）			
（1）若者の転出入に影響を与える特性・指標を選定する考え方や、そのプロセスが妥当か。	5	2	10
（2）選定した特性について、転出入と相関・因果関係があるか検証する方法は妥当か。	5	3	15
（3）転出入と相関・因果関係がある特性の評価・分析について、課題の特定、仮説の構築につながる分析となるよう、効果的な統計手法が提案されているか。	5	2	10
3. 若者の転出入の要因把握・分析（配点45点）			
（1）既存調査の再分析及び追加調査の方法は、若者の転出入の要因把握・分析できる手法となっているか。	5	4	20
（2）若者の行動（転出入や暮らし）価値観等の深掘調査の方法は、若者の行動の意思決定の価値観、深層心理、理由、背景などを深掘りして把握・分析できる手法となっているか。	5	5	25
4. 市町による課題解決の仮説構築の支援（配点65点）			
（1）市町特性と転出入要因の分析結果に基づき、合理的根拠に基づく政策形成（EBPM）による具体的な仮説構築の手法が提案されているか。	5	5	25
（2）市町職員が中心・主体となって議論できる工夫や、職員の施策形成スキルの強化につながる具体的な手法が提案されているか。	5	4	20
（3）構築される仮説が、県・市町における事業化・実施につながるよう、具体的な内容が期待できる手法・進め方の提案であるか。	5	4	20
5. 実施体制（配点25点）			
（1）責任者、役割分担等が具体的に明示され、県・市町の依頼に応じて、即時の協議ができる体制が整っているか。	5	3	15
（2）本業務を確実に実施できる体制・スケジュールになっているか。	5	2	10
6. 実績（配点10点）			
同種業務の経験や知見が豊富であり、本業務を確実にかつ効果的に遂行する十分な実績を有しているか。	5	2	10
7. 経費内訳（配点10点）			
（1）経費の内訳が明確であり、妥当性があるか。	5	1	5
（2）複数事業者の提案がある場合、金額に優位性があるか	5	1	5
合計（200点満点）			200

※ 点数は次のとおり。

5：非常に優れている／4：優れている／3：普通／2：やや劣っている／1：劣っている

※ 選定委員会の委員全員（5人）による配点の合計が、満点（1,000点）の6割（600点）に満たない提案は、選定しない。